PC98-NXシリーズ

Mate

スリムタワー型(高拡張性タイプ)
(Windows XP Professionalインストールモデル)
(Windows XP Home Editionインストールモデル)
(Windows 2000 Professionalインストールモデル)

NEC

はじめにお読みください

お買い上げいただき、まことにありがとうございます。
梱包箱を開けたら、まず本書の手順通り操作してください。

本書では、特にことわりのない場合、Windows XP Professional、およびWindows XP Home Editionを、総称してWindows XPと表記します。
また、Windows 2000 Professionalを、以降Windows 2000と表記します。

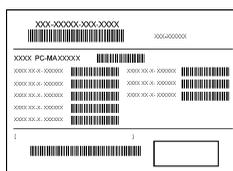
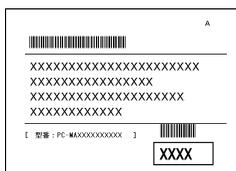
なお、本書に記載のイラストはモデルにより異なります。

操作の流れ

1 型番を控える

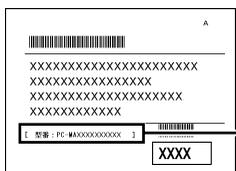
型番を控える

梱包箱のステッカーに記載されている15桁の型番(以降、スマートセレクション型番と呼びます)、またはフリーセレクション型番(フレーム型番とコンフィグオプション型番)を、このマニュアルに控えておきます。型番は添付品の確認や、再セットアップをするときに必要になりますので、必ず控えておくようにしてください。

フリーセレクション型番の場合は、型番を控えておかないと、梱包箱をなくした場合に再セットアップに必要な情報が手元に残りません。

左が「スマートセレクション型番」、右が「フリーセレクション型番」のステッカーです。
スマートセレクション型番のステッカーの場合は、「スマートセレクション型番を控える」へ、フリーセレクション型番のステッカーの場合は、P.5「フリーセレクション型番を控える」へ進んでください。

スマートセレクション型番を控える

スマートセレクション型番を控えます。控え終わったら、P.9「2 添付品の確認」へ進んでください。

1. スマートセレクション型番を次の枠に控える

□の意味は次の通りです。

❶CPUのクロック周波数を表しています。

✓	型　番	クロック周波数
	28	2.80E GHz
	34	3.40E GHz

❷ディスプレイのあるなし、または種類を表しています。

✓	型　番	ディスプレイの種類
	7	FE770
	G	LCD1560V
	H	F15M01
	J	F17M02
	L	F15K02
	N	F17K02
	T	LCD1760V
	Z	なし

❸インストールOSの種類、選択アプリケーションのあるなしを表しています。

✓	型　番	インストールOSの種類	選択アプリケーションの種類
	3	Windows 2000 Professional（Windows XP Professionalダウングレード版）	なし
	4		Office Personal 2003
	6	Windows 2000 Professional（DSP版）	
	E	Windows XP Professional	なし
	J		Office Personal 2003
	U	Windows XP Home Edition	なし
	W		Office Personal 2003
	Y	Windows 2000 Professional（DSP版）	なし

❹FDD、CD-ROMまたはCD-R/RW with DVD-ROM、キーボードの種類を表しています。

<table>
<tr><th>✓</th><th>型番</th><th>FDD</th><th>CD-ROMまたはCD-R/RW with DVD-ROM</th><th>キーボードの種類</th></tr>
<tr><td></td><td>A</td><td rowspan="6">FDD</td><td>CD-ROM</td><td>テンキー付PS/2小型キーボード
（縦置収納型）</td></tr>
<tr><td></td><td>D</td><td rowspan="2">CD-R/RW with DVD-ROM</td><td>PS/2 109キーボード</td></tr>
<tr><td></td><td>E</td><td>テンキー付PS/2小型キーボード
（縦置収納型）</td></tr>
<tr><td></td><td>M</td><td>CD-ROM</td><td rowspan="2">USB 109キーボード</td></tr>
<tr><td></td><td>S</td><td>CD-R/RW with DVD-ROM</td></tr>
<tr><td></td><td>T</td><td>CD-ROM</td><td>PS/2 109キーボード</td></tr>
</table>

❺合計メモリの容量、通信機能、グラフィックアクセラレータの種類、再セットアップ用媒体のあるなしを表しています。

<table>
<tr><th>✓</th><th>型番</th><th>合計メモリの容量</th><th>通信機能</th><th>グラフィックアクセラレータの種類</th><th>再セットアップ用媒体</th></tr>
<tr><td></td><td>5</td><td>512MB</td><td rowspan="12">LAN</td><td rowspan="2">RADEON X300 SE 注意</td><td rowspan="3">添付</td></tr>
<tr><td></td><td>8</td><td rowspan="2">1GB</td></tr>
<tr><td></td><td>9</td><td>チップセットに内蔵</td></tr>
<tr><td></td><td>C</td><td>256MB</td><td rowspan="3">RADEON X300 SE 注意</td><td>未添付</td></tr>
<tr><td></td><td>E</td><td>256MB</td><td>添付</td></tr>
<tr><td></td><td>G</td><td>512MB</td><td>未添付</td></tr>
<tr><td></td><td>J</td><td>256MB</td><td rowspan="2">チップセットに内蔵</td><td rowspan="2">添付</td></tr>
<tr><td></td><td>M</td><td>512MB</td></tr>
<tr><td></td><td>N</td><td>1GB</td><td>RADEON X300 SE 注意</td><td rowspan="4">未添付</td></tr>
<tr><td></td><td>S</td><td>256MB</td><td rowspan="3">チップセットに内蔵</td></tr>
<tr><td></td><td>U</td><td>512MB</td></tr>
<tr><td></td><td>X</td><td>1GB</td></tr>
</table>

注意　RADEON X300 SEを選択した場合、インターフェイスがDVI-Dのデジタル液晶ディスプレイと接続するには、別売の専用コネクターDVI-D（メス）デジタルディスプレイケーブル2（PC-MA-K29）が必要です。

❻ハードディスクの容量、筐体アクセントカラーの種類を表しています。

✓	型番	ハードディスクの容量	増設ハードディスクの容量	筐体アクセントカラーの種類
	1	120GB	なし	シルキーブラック
	2			エレガントシルバー
	8	80GB		シルキーブラック
	9			エレガントシルバー
	B	40GB		シルキーブラック
	D		40GB(StandbyDiskあり)	
	E		なし	エレガントシルバー
	X		40GB(StandbyDiskあり)	

※上記の❶〜❻のすべての組み合わせが実現できているわけではありません。

次にP.9「2 添付品の確認」へ進んでください。

フリーセレクション型番を控える

フレーム型番とコンフィグオプション型番を控えます。控え終わったら、P.9「2 添付品の確認」へ進んでください。

1. フレーム型番を次のチェック表にチェックする

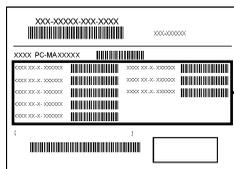
□の意味は次の通りです。

❶CPUのクロック周波数を表しています。

✓	型 番	クロック周波数
	28	2.80E GHz
	34	3.40E GHz

❷インストールOSの種類を表しています。

✓	型　番	インストールOSの種類
	3	Windows 2000 Professional （Windows XP Professionalダウングレード版）
	E	Windows XP Professional
	U	Windows XP Home Edition
	Y	Windows 2000 Professional（DSP版）

2. コンフィグオプション型番を次のチェック表にチェックする

次のコンフィグオプション（以降、COPと略します）型番のうち、❶～❺はどのモデルにも必須でステッカーには必ず記載されています（選択必須）。❻～⓬は選択したモデルやオプションによってステッカーに記載されます（選択必須および選択任意）。また、ステッカーに記載されているCOP型番は順不同になっています。
COP型番に記載されている英数字の意味は次の通りです。

❶PC-D-KB□□□8はキーボードの種類を表しています。（選択必須）

✓	型　番	キーボードの種類
	10T	テンキー付きPS/2小型キーボード（縦置き収納型）
	10U	テンキー付きUSB小型キーボード
	PS2	PS/2 109キーボード
	USB	USB 109キーボード

❷PC-D-1H□□□Bは内蔵3.5インチベイに搭載されるハードディスクの容量を表しています。（選択必須）

✓	型　番	ハードディスクの容量
	G12	120GB
	G40	40GB
	G80	80GB
	R12	120GB×2（RAID1）
	R40	40GB×2（RAID1）
	R80	80GB×2（RAID1）
	T12	120GB×2（StandbyDisk/増設HDD）
	T40	40GB×2（StandbyDisk/増設HDD）
	T80	80GB×2（StandbyDisk/増設HDD）

❸PC-D-ME□□□Bは合計メモリの種類と容量を表しています。(選択必須)

✓	型　番	合計メモリの種類と容量
	G10	DDR2 SDRAM 1GB
	G20	DDR2 SDRAM 2GB
	G25	DDR2 SDRAM 256MB
	G52	DDR2 SDRAM 512MB

❹PC-D-CD□□□□はファイルベイ用内蔵機器の種類を表しています。(選択必須)

✓	型　番	ファイルベイ用内蔵機器の種類
	CDS8	CD-ROM
	DCR7	CD-R/RW with DVD-ROM
	DSM1	DVDスーパーマルチドライブ

❺PC-D-AC□□□5は筐体アクセントカラーの種類を表しています。(選択必須)

✓	型　番	筐体アクセントカラーの種類
	BVY	シルキーブラック
	ESY	エレガントシルバー
	GEY	シルキーグリーン

❻PC-D-NE□□□3は通信機能の種類を表しています。(選択任意)

✓	型　番	通信機能の種類
	LAA	標準ギガビットイーサネットLAN ＋ LAN
	WLY	標準ギガビットイーサネットLAN ＋ 無線LAN(IEEE802.11a/b/g)

❼F□□□□□-D、LCD□□□□□-Dはディスプレイの種類を表しています。(選択任意)

✓	型　番	ディスプレイの種類
	F15K02	F15K02
	F15M01	F15M01
	F17K02	F17K02
	F17M02	F17M02
	FE770	FE770
	LCD1560V	LCD1560V
	LCD1760V	LCD1760V

注意　ディスプレイの箱、保証書、銘板、添付のマニュアルには「-D」が書かれていませんが、同じ商品です。

❽PC-D-AP□□□8は選択アプリケーションの種類を表しています。(選択任意)

✓	型　番	選択アプリケーションの種類
	SSE	Office Personal 2003

❾PC-D-2H□□□4は内蔵3.5インチベイに搭載される、増設ハードディスク(プライマリスレーブ)/ミラーリング用IDE-RAIDボードを表しています。(選択任意)

✓	型　番	増設ハードディスク/ミラーリング用IDE-RAIDボード
	SD0	StandbyDisk
	YAD	RAID1

❿PC-D-GR□□□□はグラフィックアクセラレータを表しています。(選択任意)

✓	型　番	グラフィックアクセラレータ
	DVE4	デジタルディスプレイ用コネクタボード(DVI-D)
	RAE4	RADEON X300 SE 注意

注意　RADEON X300 SEを選択した場合、インターフェイスがDVI-Dのデジタル液晶ディスプレイと接続するには、別売の専用コネクターDVI-D(メス)デジタルディスプレイケーブル2(PC-MA-K29)が必要です。

⓫PC-D-SU□□□2-Sは保守パックの種類を表しています。(選択任意)

✓	型　番	保守パックの種類
	101	PC98-NXSeriesSupportPack 3年間保守
	102	PC98-NXSeriesSupportPack 4年間保守
	103	PC98-NXSeriesSupportPack 3年間保守(ディスプレイなし)
	104	PC98-NXSeriesSupportPack 4年間保守(ディスプレイなし)

⓬PC-D-SP□□□5は再セットアップ用媒体を表しています。(選択任意)

✓	型　番	再セットアップ用媒体
	GCH	再セットアップ用CD-ROM(Windows XP Home Editionモデル専用)
	GCX	再セットアップ用CD-ROM(Windows XP Professionalモデル専用)

以上で型番を控えるは完了です。
次のページの「2 添付品の確認」へ進んでください。

2 添付品の確認

添付品を確認する

梱包箱を開けたら、まず添付品が揃っているかどうか、このチェックリストを見ながら確認してください。万一、添付品が足りない場合や破損していた場合は、すぐにご購入元にご連絡ください。

梱包箱には、このチェックリストに記載されていない注意書きの紙などが入っている場合がありますので、本機をご使用いただく前に必ずご一読ください。また、紛失しないよう、保管には十分気を付けてください。

❶箱の中身を確認する

P.2の1またはP.5の1、P.6の2の型番を参照すると、よりわかりやすくなります。

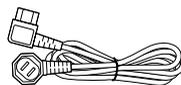
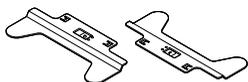
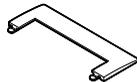
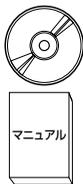
□ は、各々1つにパックされています。

□**保証書（本体梱包箱に貼り付けられています）**

保証書は、ご購入元で所定事項をご記入の上、お受け取りになり、保管してください。保証期間中に万一故障した場合は、保証書の記載内容にもとづいて修理いたします。保証期間後の修理については、ご購入元またはNECにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有償修理いたします。詳しくは、保証書をご覧ください。

□はじめにお読みください（このマニュアルです）

□本体（ディスプレイやキーボードなどの周辺機器を含まないMateを指します）

□キーボード　□マウス

□ソフトウェアのご使用条件(お客様へのお願い)
(箱の中身を確認後必ずお読みください)
□ソフトウェア使用条件適用一覧/添付ソフトウェアサポート窓口一覧
(箱の中身を確認後必ずお読みください)
□アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM
(Windows XPモデルのみ)
□バックアップCD-ROM(OSを除く)/アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM(Windows 2000モデルのみ)
□安全にお使いいただくために
□活用ガイド　再セットアップ編
□保証規定&修理に関するご案内

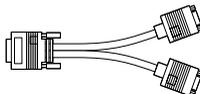
マニュアル

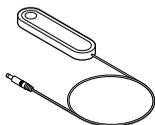
□各インストールOS用添付品
Windows® XP Professional ファーストステップガイド、
Windows® XP Home Edition ファーストステップガイド、または
Windows® 2000 Professional 添付品(※)

(※) Windows® 2000 Professional 添付品には以下のマニュアルやCD-ROMが1つのパックになっています。

- Windows® 2000 Professional クイックスタートガイド
- Windows® 2000 Professional CD-ROM
- プロダクトキー(パックしているビニール袋に貼られています)

RADEON X300 SEを選択した場合添付

□アナログケーブル
(デュアルディスプレイ対応)

無線LANを選択した場合添付

□ 無線LAN用外付けアンテナ

再セットアップ用媒体を選択した場合添付(Windows XPモデルのみ)

□再セットアップ用CD-ROM

ファイルベイ用内蔵機器の種類がCD-R/RW with DVD-ROM、およびDVDスーパーマルチドライブの場合添付

□WinDVD CD-ROM / RecordNow DX / DLA CD-ROM

❷ディスプレイがセットになったモデルの場合、ディスプレイの箱の中身については、ディスプレイの箱の中のマニュアルで確認する

(P.3 1-❷またはP.7 2-❼でディスプレイのあるなし、種類がわかります。)

❸本体にある型番、製造番号と保証書の型番、製造番号が一致していることを確認する

PC-MY XXX…XX

万一違っているときは、すぐにご購入元に連絡してください。また保証書は大切に保管しておいてください。
なお、フリーセレクション型番の場合は、フレーム型番のみが表示されています。

以上で添付品の確認は完了です。
次のページの「3 設置場所の決定」へ進んでください。

3 設置場所の決定

設置場所を決める

○ 設置に適した場所

設置に適した場所は次のような場所です。

◆屋内

◆温度10℃～35℃
　湿度20％～80％
　（ただし結露しないこと）

◆平らで十分な強度があり、落下のおそれがない
　（机の上など）

× 設置に適さない場所

次のような場所には設置しないでください。本機（本体とキーボードなどを含んだMateを指します）の故障や破損の原因となります。

◆磁気を発生するもの（扇風機、スピーカなど）や磁気を帯びているものの近く

◆直射日光があたる場所

◆暖房機の近く

◆薬品や液体の近く

◆腐食性ガス（オゾンガスなど）が発生する場所

◆テレビ、ラジオ、コードレス電話、携帯電話、他のディスプレイなどの近く

◆人通りが多くてぶつかる可能性がある場所

◆ドアの開け閉めで、ドアが当たる場所

◆ホコリが多い場所

◆本体背面および側面にある通風孔がふさがる場所

◆ディスプレイの通風孔がふさがる場所

◆テレビ、ラジオなどと同じACコンセントを使う場所

◎ 設置場所が決まったら……

設置する場所が決まったら、本機の設置と添付品の接続を行うため、次の点を確認してください。
本機は精密機器ですから、慎重に取り扱ってください。乱暴な取り扱いをすると、故障や破損の原因となります。
本体およびディスプレイの接続部は、背面にまとまっています。いきなり壁際に本体およびディスプレイを置いてしまうと、うまく接続できません。机などの裏側に回って接続できるような場所を選んでください。
通風孔をふさがないようにできるだけ15cm以上のスペースを確保してください。また、キーボードやマウスが余裕を持って操作できる場所も必要です。

◎ 本機を移動するときは……

本機に接続している、すべてのケーブル(電源ケーブル、アース線など)を取り外してください。本機を持ち上げるときは、左右から手を入れて底面を持ってください。また、移動中に壁などにぶつけたりすると故障や破損の原因となりますので、大切に取り扱ってください。

以上で設置場所の決定は完了です。
次のページの「4 添付品の接続」へ進んでください。

4 添付品の接続

接続するときの注意

・ **リンクケーブル(別売)、および無線LAN用外付けアンテナは接続しない**

リンクケーブル、および無線LAN用外付けアンテナは、本機を安全にネットワークに接続させるため、Windowsのセットアップ、ファイアウォールの設定を終了させてから接続するようにしてください。

・ **本機を接続するときは、コネクタの端子に触れない**

故障の原因となります。

添付品の接続方法

1. 設置

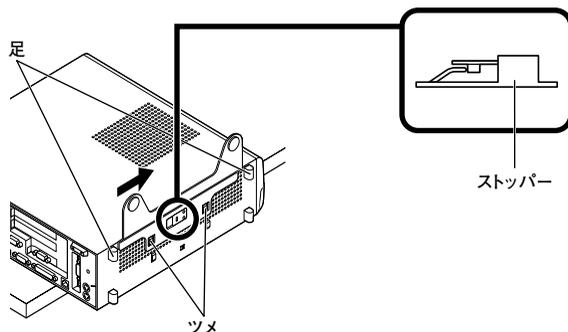
本機には、本体を縦置きで使用する場合に、安定して設置するためのスタビライザと言う脚が添付されています。梱包箱から出したままの状態では、スタビライザは本体に取り付けられていません。縦置きで使用する場合は、転倒防止のため、必ず❶か❷のいずれかの方法でスタビライザを取り付けて設置してください。
また、本体を横置きで使用することもできます。この場合、スタビライザをセットする必要はありません。横置きで使用する場合は、ゴム足がある方を下にして設置してください。また、本体の上に約20kgまでのディスプレイなどを置くことができます。なお、ディスプレイや書類などで、通風孔をふさがないでください。
横置きで使用する場合は、P.16「2.マウス、キーボードを接続する」へ進んでください。

❶スタビライザを2つ取り付ける場合

①机の端などに本体を横置きにし、本体を安定させる

この場合、机やテーブルなどを傷付けたりしないように、厚手の紙や布などを敷いておくことをおすすめします。

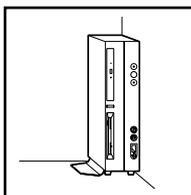
②片方のスタビライザを本体のツメと足に合わせ、スタビライザを矢印方向にストッパがロックされるまでスライドさせる

スタビライザを本体に取り付けるときは、指を挟んだり、ぶつけたり、切ったりしないように注意してください。

③もう一方のスタビライザも②と同じ方法で取り付ける

❷スタビライザを1つ取り付ける場合

次のように、本体の右側を壁などに付けて縦置きで使用する場合は、左側にスタビライザを1つ取り付けることで設置することができます。

本体の左側に通風孔があるため、壁などでふさがないように設置してください。

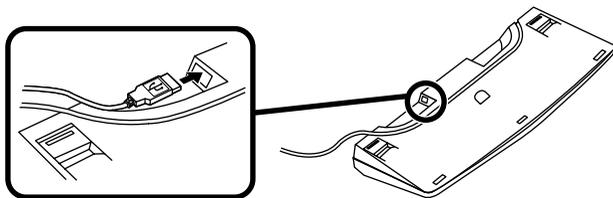
P.14「❶スタビライザを2つ取り付ける場合」と同じ方法で、左側に1つ取り付ける

1つのスタビライザのみをセットする場合は、転倒防止のため、必ず反対側の側面を壁などにつけて使用してください。

2. マウス、キーボードを接続する

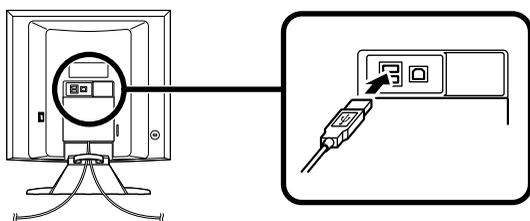
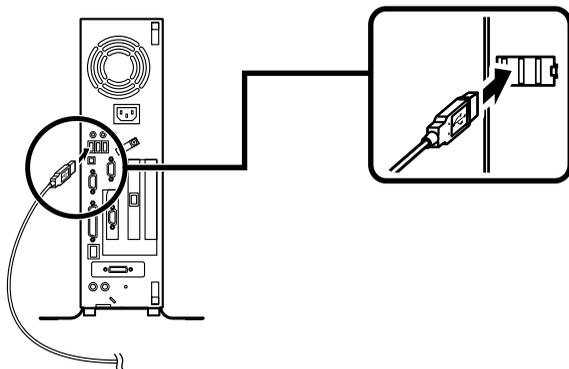
お使いのキーボードにより、❶〜❸のいずれかで接続してください。

❶USB接続のキーボードを接続する場合(ここではUSB 109キーボードを例に説明します)

①添付のマウスをキーボードに接続する

マウスは、本体のUSBコネクタには接続しないでください。

②キーボードを液晶ディスプレイ、または本体のUSBコネクタに接続する

■液晶ディスプレイに接続する場合

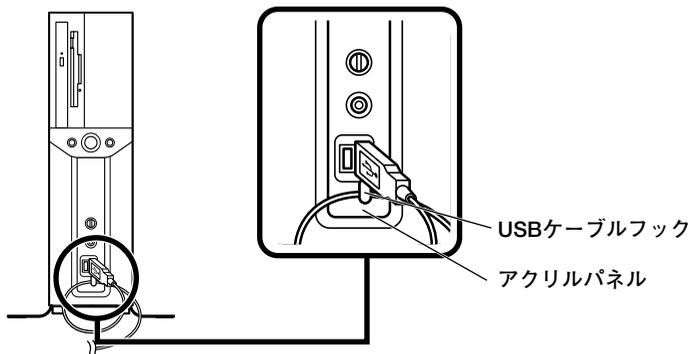
ここではディスプレイ(F17M02)がセットになった場合を例に説明します。液晶ディスプレイの背面にある2つのUSBコネクタの、どちらを使用しても構いません。

■本体(背面)に接続する場合

※ケーブルストッパを利用すると、キーボードの盗難やケーブルの抜け防止に役立ちます。
ケーブルストッパの使い方は、『ハードウェア拡張ガイド　スリムタワー型(高拡張性タイプ)』「PART2　周辺機器を利用する」の「ケーブルストッパの取り付け/取り外し」をご覧ください。

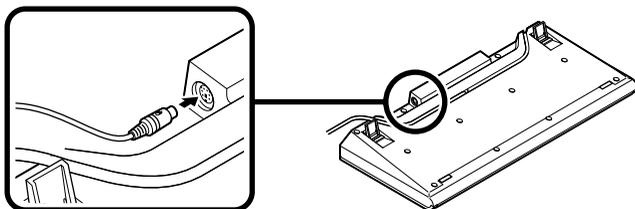
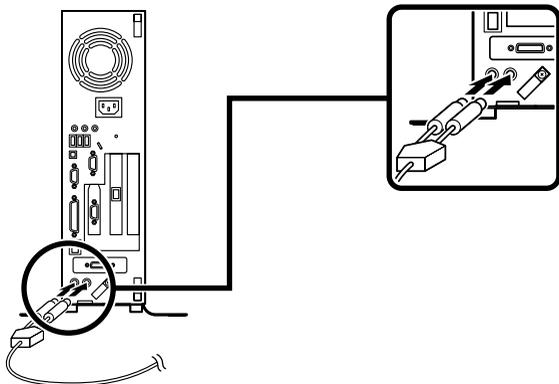
■本体(前面)に接続する場合

USBケーブルフックにキーボードのケーブルを引っ掛けてから、USBコネクタに接続する

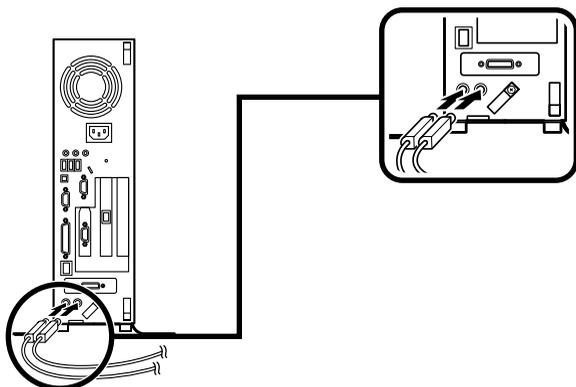
※USBケーブルフックを利用すると、USBケーブルの抜け防止に役立ちます。

チェック!!

アクリルパネルやUSBケーブルフックは、誤ってキーボードのケーブルを強く引くと過度の力がかかり、破損する場合があります。

❷PS/2接続のキーボードを接続する場合(ここではテンキー付きPS/2小型キーボード(縦置き収納型)を例に説明します)

①添付のマウスをキーボードに接続する

② キーボードから出ているマウス(緑)とキーボード(紫)のケーブルを、本体の同色のコネクタにそれぞれ接続する

※ ケーブルストッパを利用すると、キーボードの盗難やケーブルの抜け防止に役立ちます。
ケーブルストッパの使い方は、『ハードウェア拡張ガイド　スリムタワー型(高拡張性タイプ)』「PART2　周辺機器を利用する」の「ケーブルストッパの取り付け/取り外し」をご覧ください。

❸PS/2接続のキーボードを接続する場合(ここではPS/2 109キーボードを例に説明します)

添付のマウス(緑)、キーボード(紫)を、本体の同色のコネクタにそれぞれ接続する

※ ケーブルストッパを利用すると、キーボード、マウスの盗難やケーブルの抜け防止に役立ちます。
ケーブルストッパの使い方は、『ハードウェア拡張ガイド　スリムタワー型(高拡張性タイプ)』「PART2　周辺機器を利用する」の「ケーブルストッパの取り付け/取り外し」をご覧ください。

3.ディスプレイを接続する

お使いのディスプレイにより、次の❶〜❷のいずれかの方法で接続してください。ディスプレイは、本体とセットになったモデルと別売のモデルがあり、接続方法が異なる場合があります。ディスプレイに添付のマニュアルを参照しながら接続してください。

❶アナログ液晶ディスプレイ、またはCRTディスプレイを接続する場合

ここでは、ディスプレイ(F17M02)がセットになった場合を例に説明します。

RADEON X300 SEを選択した場合は、①〜⑤の順番に接続してください。

グラフィックアクセラレータを選択しない場合は、③〜⑤の順番に接続してください。

デュアルディスプレイ機能を使用する場合、ここでは一台目のディスプレイのみを接続してください。二台目のディスプレイは必ずWindowsのセットアップを終了させてから「7 マニュアルの使用方法」までの作業を行い、「8 使用する環境の設定と上手な使い方」の「4.アナログ液晶ディスプレイを二台接続して使用する」をご覧になり、接続してください。

①ディスプレイの背面につながっているアナログRGBケーブルのコネクタを、添付されているアナログケーブル(デュアルディスプレイ対応)のコネクタに接続する

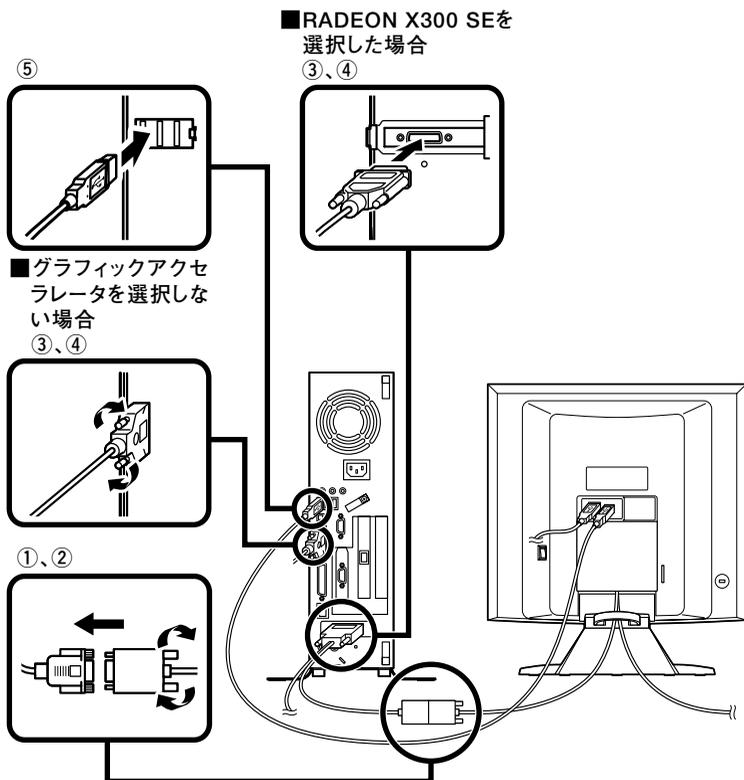
アナログケーブル(デュアルディスプレイ対応)にある2つのコネクタの、1側から使用してください。

②アナログRGBケーブルのコネクタに付いているネジで、しっかりネジ止めする

③RADEON X300 SEを選択した場合は、アナログケーブル(デュアルディスプレイ対応)のもう一方のコネクタを、アイコン(⎍)とコネクタの形状を確認し、本体のRADEON X300 SEのコネクタ(DMS-59)に接続する
グラフィックアクセラレータを選択しない場合は、ディスプレイの背面につながっているアナログRGBケーブルのコネクタを、アイコン(▭)とコネクタの形状を確認し、本体のアナログRGBコネクタに接続する

④アナログケーブル(デュアルディスプレイ対応)、またはアナログRGBケーブルのコネクタに付いているネジで、しっかりネジ止めする

⑤アナログ液晶ディスプレイの場合は、さらに、本体とアナログ液晶ディスプレイをUSBケーブルで接続する

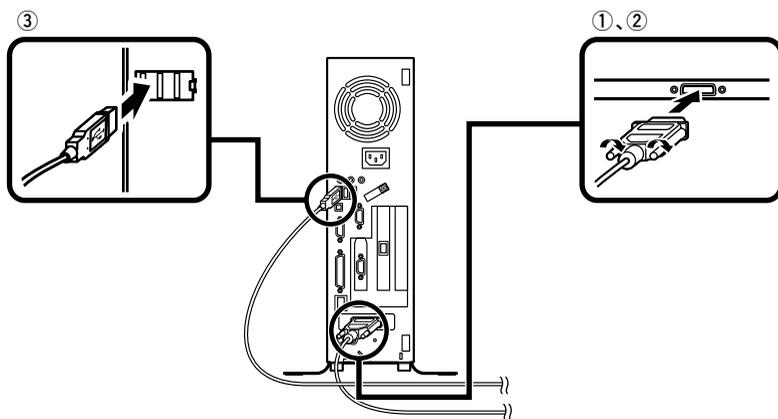
液晶ディスプレイのUSBケーブルは、本体背面のUSBコネクタに接続することをおすすめします。

❷デジタル液晶ディスプレイを接続する場合

ここでは、ディスプレイ(F17M02)がセットになった場合を例に説明します。

①ディスプレイの背面につながっているDVIケーブルのコネクタを、アイコン(⎍)とコネクタの形状を確認し、本体のDVI-Dコネクタに接続する

②DVIケーブルのコネクタに付いているネジでしっかりネジ止めする

③本体とデジタル液晶ディスプレイをUSBケーブルで接続する

液晶ディスプレイのUSBケーブルは、本体背面のUSBコネクタに接続することをおすすめします。

4. アース線、電源ケーブルを接続する

次のページのイラストを見て❶～❸の順番に接続してください。

❶アース線を接続する

①本体のアース端子にアース線をネジ止めする

②コンセントのアース端子にアース線を接続する

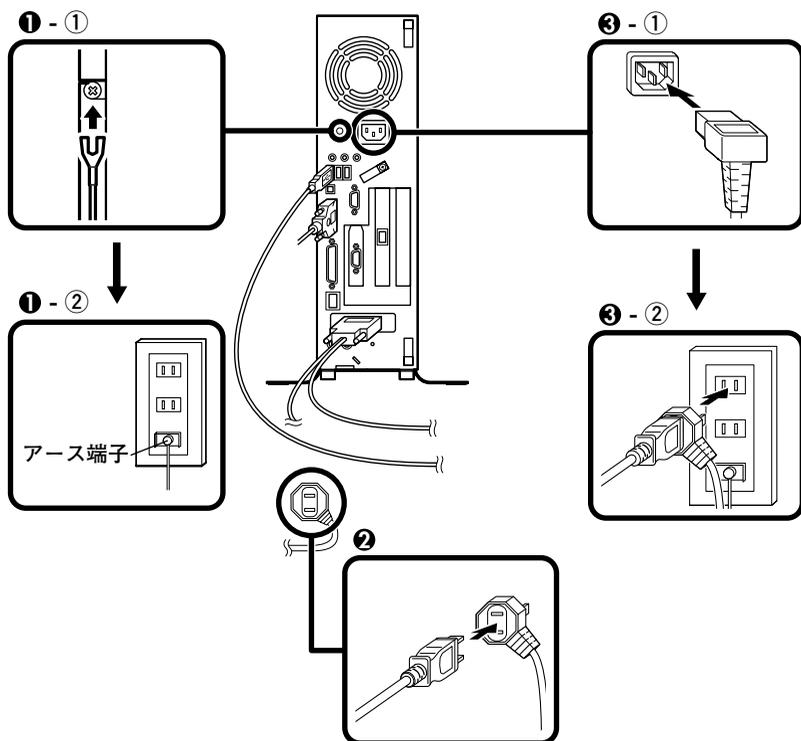
❷ディスプレイの電源ケーブルのプラグをサービスコンセント付き電源ケーブルに差し込む

次のページのイラストはアナログ液晶ディスプレイ(F17M02)がセットになった場合です。ディスプレイによって接続方法が異なる場合があります。ディスプレイに添付のマニュアルを参照しながら接続してください。

❸本体の電源ケーブルを接続する

①本体にサービスコンセント付き電源ケーブルを接続する

②サービスコンセント付き電源ケーブルのもう一方のプラグを壁などのコンセントに差し込む

一度電源が入り、数秒で電源が切れます。(故障ではありません)

以上で添付品の接続は完了です。
次のページの「5 Windowsのセットアップ」へ進んでください。

5 Windowsのセットアップ

はじめて本機の電源を入れるときは、Windowsセットアップの作業が必要です。

セットアップをするときの注意

・ **プリンタやメモリなど、周辺機器は接続しない**
　この作業が終わるまでは、プリンタや増設メモリなどの取り付けを絶対に行わないでください。これらの周辺機器を本機と一緒に購入した場合は、先に「5 Windowsのセットアップ」から「8 使用する環境の設定と上手な使い方」の作業を行った後、周辺機器に添付のマニュアルを読んで接続や取り付けを行ってください。

・ **リンクケーブル(別売)、および無線LAN用外付けアンテナは接続しない**
　リンクケーブル、および無線LAN用外付けアンテナは、本機を安全にネットワークに接続させるため、Windowsのセットアップ、ファイアウォールの設定を終了させてから接続するようにしてください。

・ **途中で電源を切らない**
　作業の途中では絶対に電源を切らないでください。作業の途中で、電源スイッチを操作したり電源ケーブルを引き抜いたりすると、故障の原因になります。途中で画面が止まるように見えることがあっても、セットアッププログラムは動作していることがあります。故障ではありませんので、慌てずに手順通り操作してください。

・ **セットアップ中は放置しない**
　キー操作が必要な画面で、本機を長時間放置しないでください。

障害が発生した場合や誤って電源スイッチを押してしまった場合は、P.30「セットアップ中のトラブル対策」をご覧ください。

セットアップを始める前の準備

・ Windowsセットアップ中に本機を使う人の名前を入力する必要があります。登録する名前を決めておいてください。

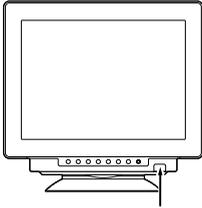
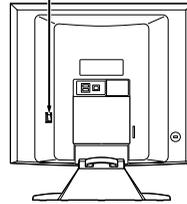
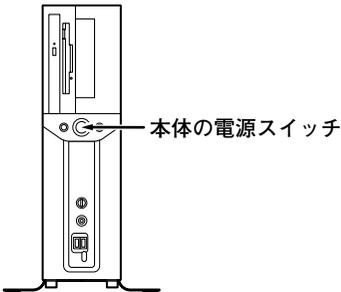
・ Windows 2000をお買い上げの方は、Windowsセットアップ中にプロダクトキー(『Windows® 2000 Professionalクイックスタートガイド』をパックしているビニール袋に貼られています)を入力する必要があります。プロダクトキーは再セットアップするときにも必要になりますので、なくさないようにしてください。

電源を入れる

必ず❶、❷の順番に従って、正しく電源を入れてください。

❶ディスプレイの電源を入れる

ディスプレイの電源スイッチの位置は、ディスプレイに添付のマニュアルを参照してください。

■ CRTディスプレイ（FE770）の場合

■ アナログ液晶ディスプレイ（F17M02）の場合

❷本体の電源を入れる

セットアップの作業手順

以降は、お買い上げいただいたオペレーティングシステムに従って、「1. Windows XP Professionalのセットアップ」、P.26「2. Windows XP Home Editionのセットアップ」、またはP.27「3. Windows 2000のセットアップ」に進んでください。

また、Ghostについては、「アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM」内の「Ghost.txt」をご覧ください。

1. Windows XP Professionalのセットアップ

Windows XP Professionalのセットアップを開始します。

- これ以降は、セットアップの作業が完了するまで、電源スイッチに絶対に手を触れないでください。セットアップが完了する前に電源を切ると、故障の原因になります。
- 「Microsoft Windows へようこそ」の画面が表示されるまで時間がかかります。しばらくお待ちください。
- 手順④～⑧の設定方法についてはネットワーク管理者にお問い合わせください。

❶「Microsoft Windows へようこそ」の画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリック

❷「使用許諾契約」の画面を確認する

をクリックするか、キーボードの【PageDown】を押すと、「契約書」の続きを読むことができます。

❸内容を確認後、「同意します」をクリックし、「次へ」ボタンをクリック

(同意しない場合セットアップは続行できません)

❹「コンピュータに名前を付けてください」の画面が表示されたら、名前を入力し、「次へ」ボタンをクリック

❺「管理者パスワードを設定してください」の画面が表示されたら、管理者パスワードを入力し、「次へ」ボタンをクリック

❻「このコンピュータをドメインに参加させますか？」の画面が表示された場合は、「いいえ」、または「はい」を選択し、「次へ」ボタンをクリック

❼「インターネットに接続する方法を指定してください。」の画面が表示された場合は、「省略」ボタンをクリック

❽「Microsoftにユーザー登録する準備はできましたか？」の画面が表示された場合は、「いいえ、今回はユーザー登録しません」を選択し、「次へ」ボタンをクリック

❾「このコンピュータを使うユーザーを指定してください」の画面が表示されたら、ユーザ名を入力し、「次へ」ボタンをクリック

> ユーザ名を入力しないと、次の操作に進むことはできません。なお、ここで入力した「ユーザー1」の内容が、「システムのプロパティ」の「使用者」として登録されます。「使用者」はセットアップが完了した後には変更できません。変更するには再セットアップが必要です。

❿「設定が完了しました」の画面が表示されたら、「完了」ボタンをクリック

途中で何度か画面が変わり、デスクトップ画面が表示されるまでしばらくかかります。

Windows XP Professionalのセットアップが終了したら、P.29「電源を切る」の手順に従い、必ず一度電源を切ってください。

2. Windows XP Home Editionのセットアップ

Windows XP Home Editionのセットアップを開始します。

> - これ以降は、セットアップの作業が完了するまで、電源スイッチに絶対に手を触れないでください。セットアップが完了する前に電源を切ると、故障の原因になります。
> - 「Microsoft Windows へようこそ」の画面が表示されるまで時間がかかります。しばらくお待ちください。
> - 手順④～⑥の設定方法についてはネットワーク管理者にお問い合わせください。

❶「Microsoft Windows へようこそ」の画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリック

❷「使用許諾契約」の画面を確認する

をクリックするか、キーボードの【PageDown】を押すと、「契約書」の続きを読むことができます。

❸内容を確認後、「同意します」をクリックし、「次へ」ボタンをクリック

(同意しない場合セットアップは続行できません)

❹「コンピュータに名前を付けてください」の画面が表示されたら、名前を入力し、「次へ」ボタンをクリック

❺「インターネットに接続する方法を指定してください。」の画面が表示された場合は、「省略」ボタンをクリック

❻「Microsoftにユーザー登録する準備はできましたか？」の画面が表示された場合は、「いいえ、今回はユーザー登録しません」を選択し、「次へ」ボタンをクリック

❼「このコンピュータを使うユーザーを指定してください」の画面が表示されたら、ユーザ名を入力し、「次へ」ボタンをクリック

> ユーザ名を入力しないと、次の操作に進むことはできません。なお、ここで入力した「ユーザー1」の内容が、「システムのプロパティ」の「使用者」として登録されます。「使用者」はセットアップが完了した後には変更できません。変更するには再セットアップが必要です。

❽「設定が完了しました」の画面が表示されたら、「完了」ボタンをクリック

途中で何度か画面が変わり、デスクトップ画面が表示されるまでしばらくかかります。

Windows XP Home Editionのセットアップが終了したら、P.29「電源を切る」の手順に従い、必ず一度電源を切ってください。

3. Windows 2000のセットアップ

Windows 2000のセットアップを開始します。

> これ以降は、セットアップの作業が完了するまで、電源スイッチに絶対に手を触れないでください。

❶電源ランプが点灯して、「オペレーティングシステムのセットアップ」の画面が表示されたら、【Enter】を押す

自動的に再起動します。

❷「Windows 2000セットアップウィザードの開始」の画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリック

❸「ライセンス契約」の画面が表示される

内容をよくご覧の上、次に進んでください。

①▼をクリックして続きを見る

②内容を確認し、「同意します」ボタンをクリック

（同意しない場合、セットアップは続行できません。）

③「次へ」ボタンをクリック

❹「ソフトウェアの個人用設定」の画面が表示されたら、名前と組織名を入力する

ここで登録した名前や会社名は、セットアップが完了した後には変更できません。変更するには再セットアップが必要です。『活用ガイド　再セットアップ編』をご覧ください。また、名前は半角英数字で入力してください。ご利用になるアプリケーションによっては、名前に全角文字が使われていると正常に動作しないものがあります。

①名前を入力

名前を入力しないと、次の操作に進むことはできません。

②組織名を入力する場合は、組織名の欄にマウスポインタをあわせてクリック

カーソルが点滅して組織名を入力できるようになります。名前と同じように組織名を入力します。

③「次へ」ボタンをクリック

❺プロダクトキーを入力して「次へ」ボタンをクリック

プロダクトキーは『Windows® 2000 Professionalクイックスタートガイド』をパックしているビニール袋に貼付されています。

❻「コンピュータ名とAdministratorのパスワード」の画面が表示されたら、コンピュータ名および、パスワードを入力

①コンピュータ名を入力

コンピュータ名は後で変更できます。

設定についてはネットワーク管理者にお問い合わせください。

②パスワードを入力

パスワードは大文字、小文字を区別しています。パスワードは後で変更できます。ここで入力したパスワードは、絶対忘れないようにしてください。

③パスワードの確認入力の欄をクリックし、もう一度パスワードを入力

④「次へ」ボタンをクリック

❼「Windows 2000セットアップ」の画面が表示されたら、「再起動する」ボタンをクリック

自動的に再起動します。

❽再起動後、「ネットワーク識別ウィザードの開始」の画面が表示された場合は、「次へ」ボタンをクリック

❾「このコンピュータのユーザー」の画面が表示されたら、必要な項目を入力し、「次へ」ボタンをクリック

設定についてはネットワーク管理者にお問い合わせください。

❿「ネットワーク識別ウィザードの終了」の画面が表示されたら、「完了」ボタンをクリック

手順❾で「ユーザーはこのコンピュータを利用するとき、ユーザー名とパスワードを入力する必要がある」を選択した場合、「Windowsへのログオン」の画面が表示されます。
手順❻で設定したパスワードを入力し、「OK」ボタンをクリックしてください。
途中で何度か画面が変わり、デスクトップ画面が表示されるまでしばらくお待ちください。

デスクトップ画面が表示される前に「システム設定の変更」の画面が表示される場合があります。その場合はデスクトップ画面が表示されるまで待ち、「Windows 2000の紹介」の画面の「終了」ボタンをクリックしてから、「システム設定の変更」の画面の「はい」ボタンをクリックして再起動してください。

Windows 2000のセットアップが終了したら、「電源を切る」の手順に従い、必ず一度電源を切ってください。

電源を切る

次の手順で正しく電源を切ってください。

1. Windows XPの終了

❶「スタート」ボタンをクリックし、「終了オプション」をクリック

❷「電源を切る」ボタンをクリック

自動的に電源が切れます。

❸ディスプレイの電源を切る

2. Windows 2000の終了

❶「スタート」ボタンをクリックし、「シャットダウン」をクリック

❷「シャットダウン」を選択し、「OK」ボタンをクリック

自動的に電源が切れます。

❸ディスプレイの電源を切る

以上で、Windowsのセットアップは完了です。
次にP.31「リンクケーブル、および無線LAN用外付けアンテナの接続」へ進んでください。

セットアップ中のトラブル対策

◎ 電源スイッチを押しても電源が入らない

- **電源ケーブルの接続が不完全である事が考えられるので、一度電源ケーブルをコンセントから抜き、本体と電源ケーブルがしっかり接続されていることを確認してから、もう一度電源ケーブルをコンセントに差し込む**
  電源ケーブルを接続しなおしても電源が入らない場合は、本体の故障が考えられますので、ご購入元にご相談ください。

◎ セットアップの途中で、誤って電源を切ってしまった

- **電源を入れて、表示される画面をチェックする**
  CHKDSKが実行され、ハードディスクに異常がないときは、セットアップを続行することができます。(CHKDSKは実行されない場合もあります。)
  セットアップが正常に終了した後は問題なくお使いいただけます。エラーメッセージが表示された場合は、システムを起動するためのファイルに何らかの損傷を受けた可能性があります。この場合、Windowsは起動しません。Windowsを再セットアップするか、ご購入元にご相談ください。
  再セットアップについては、『活用ガイド　再セットアップ編』をご覧ください。

◎ セットアップの途中でパソコンが反応しない、またはエラーメッセージが表示された

- **パソコンが反応しなかったり、エラーメッセージが表示された場合は、メッセージを書き留めた後、本機の電源スイッチを4秒以上押して、強制的に終了する**
  電源が切れた後、再度電源スイッチを入れ、上記の「・電源を入れて、表示される画面をチェックする」をご覧ください。

リンクケーブル、および無線LAN用外付けアンテナの接続

1. 本機を安全にネットワークに接続するために

コンピュータウイルスやセキュリティ上の脅威を避けるためには、お客様自身が本機のセキュリティを意識し、常に最新のセキュリティ環境に更新する必要があります。
リンクケーブル(別売)、および無線LANなどを使用して本機を安全にネットワークに接続させるために、以下の対策を行うことを強く推奨します。

稼働中のローカルエリアネットワークに接続する場合は、ネットワーク管理者の指示に従ってリンクケーブル、および無線LANなどの接続を行ってください。

❶ファイアウォールの利用

コンピュータウイルスの中には、ネットワークに接続しただけで感染してしまう例も確認されていますので、本機をネットワークに接続させる前に本機能を有効、またはファイアウォールソフトをインストールすることを推奨します。

＜Windows XPの場合＞

OSの機能として標準で「インターネット接続ファイアウォール」機能が搭載されています。
「インターネット接続ファイアウォール」について、詳しくはWindowsの「ヘルプとサポート」をご覧ください。
なお、工場出荷時の状態では「インターネット接続ファイアウォール」機能は有効になっていません。

＜Windows 2000の場合＞

OSの機能としてファイアウォール機能が搭載されていません。
本機をネットワークに接続させる前に、ファイアウォールソフトを別途入手し、インストールしてファイアウォール機能を有効にすることを推奨します。

メモ

Microsoft社から下記URLより無償配布されていますCD-ROMにファイアウォールソフトが含まれています。

Windows セキュリティアップデートCD(2004年2月)
http://www.microsoft.com/japan/security/protect/order/default.mspx

❷Windows Update

最新かつ重要なセキュリティの更新情報が提供されています。ネットワークに接続後、Windowsを最新の状態に保つために、Windows Updateで「重要な更新とService Pack」の更新を定期的に実施してください。

Windows Updateについて、詳しくはWindowsの「ヘルプとサポート」、または「ヘルプ」をご覧ください。

❸ウイルス対策アプリケーションの利用

本機にはウイルスを検査・駆除するアプリケーション(ウイルススキャン)が「アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM」、または「バックアップCD-ROM(OSを除く)/アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM」に添付されています。

コンピュータウイルスから本機を守るために、ウイルススキャンをインストールすることを推奨します。

ウイルススキャンはインストールした環境のまま使用し続けた場合、十分な効果は得られません。日々発見される新種ウイルスに対応するためウイルス定義(DAT)ファイルを最新の状態にする必要があります。

ウイルス定義(DAT)ファイルの無償提供期間は登録後90日間です。
引き続きお使いになる場合は、継続利用のお申し込み(有償)が必要です。

ウイルススキャンについて、詳しくは『活用ガイド　ソフトウェア編』「アプリケーションの概要と削除/追加」の「ウイルススキャン」をご覧ください。

リンクケーブルを接続する場合は、「2. リンクケーブル(別売)を接続する」へ、無線LAN用外付けアンテナを接続する場合は、P.33「3. 無線LAN 用外付けアンテナを接続する」へ進んでください。

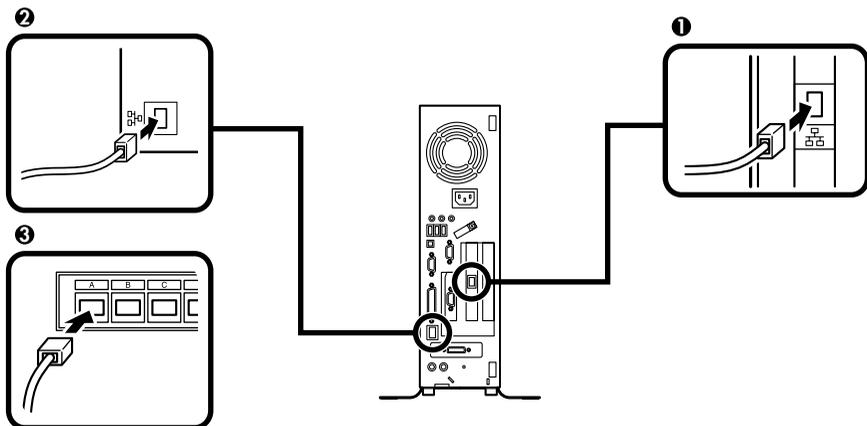
2. リンクケーブル(別売)を接続する

LAN(ローカルエリアネットワーク)に接続するときは、リンクケーブル(別売)を使い、次の手順で接続します。
LAN を使用する場合は、❶、❸の手順で接続してください。
ギガビットイーサーネットLANを使用する場合は、❷、❸の手順で接続してください。

❶リンクケーブルのコネクタを、PCIスロットに挿入されているLANボードのアイコン( )に従って接続する

❷リンクケーブルのコネクタを本体のアイコン( )に従って接続する

❸マルチポートリピータ(ハブ)に、リンクケーブルのもう一方を接続する

※LANの設定については、『活用ガイド ハードウェア編 スリムタワー型(高拡張性タイプ)』「PART 1 本体の構成各部」の「LAN(ローカルエリアネットワーク)」をご覧ください。

以上でリンクケーブルの接続は完了です。
P.35「6 お客様登録」へ進んでください。

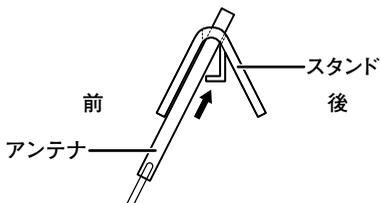
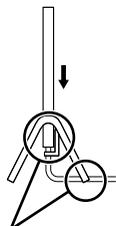
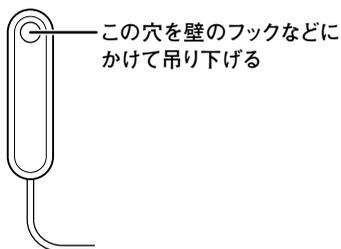
3. 無線LAN用外付けアンテナを接続する

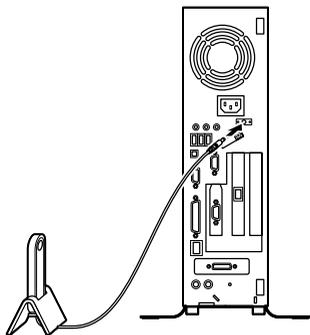
無線LANを選択した場合、無線LANアンテナが本機に添付されています。次の手順に従い、接続を行ってください。

装置内部に実装された無線LANモジュールとコネクタボード、およびコネクタボード間のケーブルには触れないでください。

❶アンテナを組み立てる

机やテーブル、または本機の上などにアンテナを置く場合は、次の手順でアンテナをスタンドに立ててください。

①スタンドの下から、アンテナをスタンドの穴に通す

②アンテナをスタンドの台にのせる

また、アンテナをスタンドには立てず、次のように壁のフックなどに吊り下げて使用することもできます。感度の良い方で使用してください。

❷アンテナを本体に接続する

背面の無線LAN用コネクタに、外付けアンテナのコネクタを差し込んでください。

以上で無線LAN用外付けアンテナの接続は完了です。
次のページの「6 お客様登録」へ進んでください。

6 お客様登録

本製品のお客様登録はInternet Explorerの「お気に入り」メニューにある「NEC 8番街(企業向け情報／お客様登録)」からインターネットによる登録を行ってください(登録料、会費は無料です)。

メモ

Microsoft社に対するユーザー登録は、「ユーザー登録ウィザード」で行うことができます。「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」を選択し、「名前」に「regwiz/r」と入力してください。ユーザー登録についての詳細は「ヘルプとサポート」、またはWindowsのヘルプをご覧ください。

以上でお客様登録は完了です。
次の「7 マニュアルの使用方法」へ進んでください。

7 マニュアルの使用方法

本機に添付またはCD-ROM(「アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM」、または「バックアップCD-ROM(OSを除く)/アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM」)に格納されているマニュアルを紹介します。目的にあわせてお読みください。
また、マニュアル類はなくさないようにご注意ください。マニュアル類をなくした場合は『活用ガイド　ソフトウェア編』「トラブル解決Q&A」の「その他」、「アフターケアについて」をご覧ください。

マニュアルの使用方法

※印のマニュアルは、「Mate電子マニュアル」として「アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM」、または「バックアップCD-ROM(OSを除く)/アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM」に入っています。「Mate電子マニュアル」の使用方法については、P.38「電子マニュアルの使用方法」をご覧ください。

●**『安全にお使いいただくために』**
本機を安全にお使いいただくための情報を記載しています。使用する前に必ずお読みください。

●各インストールOS用ガイド
『Microsoft® Windows® XP Professionalファーストステップガイド』
『Microsoft® Windows® XP Home Editionファーストステップガイド』
『Microsoft® Windows® 2000 Professionalクイックスタートガイド』
各Windowsの全般的な基礎知識や基本的な操作方法を確認したいときにお読みください。
(Windows 2000の場合は、ヘルプの中にあるオンライン形式の『Windows 2000 Professionalファーストステップガイド』でもご覧いただけます。)

●『活用ガイド　再セットアップ編』
本機のシステムを再セットアップするときにお読みください。

●『活用ガイド　ハードウェア編　スリムタワー型(高拡張性タイプ)』(Windows XP Professionalインストールモデル、Windows XP Home Editionインストールモデル、Windows 2000 Professionalインストールモデル)　※
本体の各部の名称と機能、システム設定(BIOS設定)について確認したいときにお読みください。

●『活用ガイド　ソフトウェア編』　※
アプリケーションの概要と削除/追加、ハードディスクのメンテナンスをするとき、他のOSをセットアップするとき、またはトラブルが起きたときにお読みください。

●『ハードウェア拡張ガイド　スリムタワー型(高拡張性タイプ)』　※
本体の内部構造を知りたいときや、機能を拡張する機器の取り付けを行うときにお読みください。

●ディスプレイのユーザーズマニュアル
・ 液晶ディスプレイまたはCRTディスプレイがセットになったモデルの場合は、ディスプレイに添付されています(P.2「1型番を控える」をご覧ください)。ご利用の際に、必ずお読みください。
・ 液晶ディスプレイのUSBハブが正常に接続されていることの確認については、次の手順で「デバイスマネージャ」から「USB(Universal Serial Bus)コントローラ」、または「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」を開き、以下のいずれかになっていることを確認してください。

〈PS/2キーボードをお使いの場合〉

「NEC USB Hub」が表示されている

〈USBキーボードをお使いの場合〉

「NEC USB Hub」が２つ表示されている、または「NEC USB Hub」と「汎用USBハブ」が表示されている

■Windows XPの場合

①「スタート」ボタン→「マイコンピュータ」をクリック

②「システムのタスク」の「システム情報を表示する」をクリック

③「ハードウェア」タブをクリックし、「デバイスマネージャ」ボタンをクリック

④「USB(Universal Serial Bus)コントローラ」をダブルクリック

■Windows 2000の場合

①「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリック

②「システム」をダブルクリック

③「ハードウェア」タブをクリックし、「デバイスマネージャ」ボタンをクリック

④「USB(Universal Serial Bus)コントローラ」をダブルクリック

●選択アプリケーションのユーザーズマニュアル
Office Personal 2003を選択した場合、Office Personal 2003のマニュアルが添付されています(P.2「1 型番を控える」をご覧ください)。ご利用の際にお読みください。

●保証規定&修理に関するご案内
パソコンに関する相談窓口、保証期間と保証規定の詳細内容およびQ&A、有償保守サービス、お客様登録方法、NECの企業向け情報機器関連総合サイト「NEC 8番街」について知りたいときにお読みください。

Microsoft関連製品の情報について

次のWebサイト(Microsoft Press)では、一般ユーザー、ソフトウェア開発者、技術者、およびネットワーク管理者用にMicrosoft関連商品を活用するための書籍やトレーニングキットなどが紹介されています。

http://www.microsoft.com/japan/info/press/

電子マニュアルの使用方法

電子マニュアルを使用する場合は、次の手順で起動してご覧ください。

❶CD-ROMドライブ、CD-R/RW with DVD-ROMドライブ、またはDVDスーパーマルチドライブに、本機に添付の「アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM」、または「バックアップCD-ROM(OSを除く)/アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM」をセットする

❷「エクスプローラ」、または「マイコンピュータ」を開く

❸CD-ROMドライブのアイコンをダブルクリック

❹「_manual」フォルダをダブルクリックし、「index」ファイルをダブルクリック

「Mate電子マニュアル」が表示されます。

PDF形式のマニュアル(ファイル)をご覧いただくときの補足事項

あらかじめ、本機にAdobe Readerをインストールしておく必要があります。詳しくはMate 電子マニュアル『活用ガイド ソフトウェア編』「アプリケーションの概要と削除/追加」「Adobe Reader」をご覧ください。

メモ

- 必要に応じて「_manual」フォルダをハードディスクのルートディレクトリにコピーしてご利用ください。
  「_manual」フォルダをハードディスクのルートディレクトリにコピーしてご利用の際、フォルダ名・ファイル名などは変更しないでください。コピー先のフォルダ名はすべて英数字の半角文字である必要があります。それ以外の文字(「デスクトップ」などの日本語)のフォルダ名にコピーすると起動することができなくなります。
- Windowsが起動しなくなったなどのトラブルが発生した場合は、電子マニュアルをご覧になることができません。そのため、あらかじめ「トラブル解決Q&A」を印刷しておくと便利です。
- NECの企業向け情報機器関連総合サイト「NEC 8番街」では、NEC製のマニュアルを電子マニュアル化し、ダウンロードできるサービスを行っております。

  http://nec8.com/

  「サポート情報」→「商品情報・消耗品」→「本体添付マニュアル」の「ビジネスPC(電子マニュアル)」から、電子マニュアルビューアをご覧ください。

  また、NEC PCマニュアルセンターでは、マニュアルの販売を行っています。

  http://pcm.mepros.com/

以上でマニュアルの使用方法は完了です。
次のページの「8 使用する環境の設定と上手な使い方」へ進んでください。

8 使用する環境の設定と上手な使い方

本機を使用する環境や運用･管理する上で便利な機能を設定します。機能の詳細や設定方法については､『活用ガイド　ハードウェア編　スリムタワー型(高拡張性タイプ)』および『活用ガイド　ソフトウェア編』をご覧ください。

1. 最新の情報を読む

補足説明

補足説明には､本製品のご利用にあたって注意していただきたいことや､マニュアルには記載されていない最新の情報について説明していますので､削除しないでください。以下の方法でお読みください。

■Windows XPの場合

・「Mate 電子マニュアル」を起動して「補足説明」をクリック
・「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「補足説明」をクリック

■Windows 2000の場合

・「Mate 電子マニュアル」を起動して「補足説明」をクリック
・「スタート」ボタン→「プログラム」→「補足説明」をクリック

2. Windows XP のService Packについて

Service Pack 1

Windows XPをお使いの場合､本機にはService Pack 1がインストールされています。

Windows XP Professionalインストールモデルの場合､ハイパー･スレッディング･テクノロジを使用することができます。ハイパー･スレッディング･テクノロジを使用する場合は､必ずService Pack 1が適用された状態で運用してください。

Service Pack 1を削除する場合は､必ず『活用ガイド　ソフトウェア編』「アプリケーションの概要と削除/追加(Windows XP Professional､Windows XP Home Edition)」の「「Service Pack」について」をご覧になり､必要に応じて削除してください。削除時の注意および削除方法が記載されています。

3. Windows 2000のService Packについて

Service Pack 4

Windows 2000をお使いの場合、本機にはService Pack 4がインストールされています。Service Pack 4を削除することはできません。

4. アナログ液晶ディスプレイを二台接続して使用する

デュアルディスプレイ機能について

RADEON X300 SEを選択した場合、アナログ液晶ディスプレイを二台接続して使用することができます。電源が入っている場合は、電源を切り、P.19「4 添付品の接続」「3.ディスプレイを接続する」の「❶アナログ液晶ディスプレイ、またはCRTディスプレイを接続する場合」をご覧になり、一台目のディスプレイと同様の手順で、二台目のディスプレイを接続してください。デュアルディスプレイ機能の設定については、『活用ガイド　ハードウェア編 スリムタワー型(高拡張性タイプ)』「PART1 本体の構成各部」「ディスプレイ」の「デュアルディスプレイ機能(RADEON X300 SEモデルのみ)」をご覧ください。

5.液晶ディスプレイの調整

液晶ディスプレイの調整について

文字がにじむときや縦縞状のノイズなどがあるときは、液晶ディスプレイの調整が必要です。ディスプレイに添付のマニュアルをご覧になり、ディスプレイを調整してください。

〈液晶ディスプレイ(F15M01、F17M02)をアナログ液晶ディスプレイとして使用した場合、またはアナログ液晶ディスプレイ(F15K02、F17K02)の場合〉

「画面調整用BMPファイル」が「アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM」に格納されています。詳しくは、ディスプレイに添付のマニュアルをご覧ください。

〈液晶ディスプレイ(F15M01、F17M02)をデジタル液晶ディスプレイとして使用した場合〉

画面の位置、サイズなどの調整は必要ありません。

〈アナログ液晶ディスプレイ(LCD1560V、LCD1760V)の場合〉

ディスプレイ本体のオートアジャスト機能で調整してください。詳しくは、ディスプレイに添付のマニュアルをご覧ください。

6. Securityの設定

スーパバイザ/ユーザパスワード、ハードディスクパスワード、筐体ロックなど

本機には、本機の不正使用を防止する機能(スーパバイザ/ユーザパスワード)、ハードディスクドライブが盗難にあってもデータの漏洩を防ぐ機能(ハードディスクパスワード)、内蔵部品(メモリやハードディスクドライブ)の盗難を防止するため、錠をかける機能(筐体ロック)があります。この他にも便利な機能があります。詳しくは、『活用ガイド　ハードウェア編　スリムタワー型(高拡張性タイプ)』「PART1　本体の構成各部」の「セキュリティ/マネジメント機能」をご覧ください。

7. データのバックアップの設定

❶Masty Data Backup

ハードディスクドライブが故障すると、データが一瞬にして使えなくなってしまい、復帰できない可能性があります。二度と同じものを作れないような大切なデータは、保護するためこまめにバックアップをとるようおすすめします。
本機には、ハードディスクドライブのデータをバックアップするアプリケーション(Masty Data Backup)が「アプリケーションCD- ROM/マニュアルCD- ROM」に添付されています(Windows 2000をお使いの場合、添付されていません)。
詳しくは『活用ガイド　ハードウェア編　スリムタワー型(高拡張性タイプ)』「PART1　本体の構成各部」の「ハードディスクドライブ」、『活用ガイド　ソフトウェア編』「アプリケーションの概要と削除/追加」の「Masty Data Backup」をご覧ください。

❷StandbyDisk

2台のハードディスクを使用し、一方のハードディスクドライブの内容をもう一方のハードディスクドライブに定期的(日/週/月単位等)に、バックアップできます。このため、運用中のハードディスクドライブの障害が起きたときに、もう一方のハードディスクから起動し、バックアップした時点の環境に戻すことができます。
StandbyDiskは「増設ハードディスク(StandbyDisk)」を選択した場合のみ添付されています。
詳しくは『活用ガイド　ソフトウェア編』「アプリケーションの概要と削除/追加」の「StandbyDisk」をご覧ください。

❸StandbyDisk Solo RB

ハードディスク内にある第1パーティション(Cドライブ)の使用領域とほぼ同じ容量をバックアップ先(以後スタンバイ･エリア)として同パーティション内に確保し、使用領域のバックアップを行います。稼動中のシステムに障害が起きた際、スタンバイ･エリアからシステムを起動することで、ハードウェア障害であるか、あるいはソフトウェア障害であるかを絞り込むことが可能です。
なお、StandbyDisk Solo RBからStandbyDisk Soloへのアップグレードを次のWebサイトから有償で行うことができます。

http://www.netjapan.co.jp/solo/rb1a3/

また、「StandbyDisk Solo RBインストールガイド」を使用することによって、「StandbyDisk Solo RB」をインストールすることができます。

■Windows XPの場合

「スタートボタン」→「すべてのプログラム」→「メンテナンスツール」→「StandbyDisk Solo RBインストールガイド」をクリック

■Windows 2000の場合

「スタートボタン」→「プログラム」→「メンテナンスツール」→「StandbyDisk Solo RBインストールガイド」をクリック

❹FastCheckモニタリングユーティリティ

FastCheckモニタリングユーティリティは、RAIDシステムを管理するユーティリティです。RAIDシステムの全ての操作ステータスを監視することができます。データの変更や保存の際に、搭載した2台のハードディスクドライブにリアルタイムでデータの書き換えを実行し、大切なデータを二重化して保存します。万一１台目のハードディスクドライブでディスククラッシュなどのハードウェア障害が発生しても、もう一方のハードディスクドライブで継続動作が可能です。
FastCheckモニタリングユーティリティは、P.8 2-❾フリーセレクションの「増設ハードディスク/ミラーリング用IDE-RAIDボード」にて「RAID1」を選択した場合のみインストールされています。詳しくは『活用ガイド　ハードウェア編　スリムタワー型(高拡張性タイプ)』「PART1　本体の構成各部」の「ハードディスクドライブ(IDE-RAIDボード搭載モデルの場合)」、または「Mate 電子マニュアル」「「FastCheckモニタリングユーティリティ」について」をご覧ください。

8. 上手な使い方

❶トラブルを防止するために

本機のトラブルを予防し、効率よくマネジメントするためには、電源の入れ方/切り方や、エラーチェックなどいくつかのポイントがあります。また、トラブルが起きてしまった場合にそなえ、「システム修復ディスク」、または「RAIDモデル用ドライバディスク」(RAIDモデルの場合のみ)をあらかじめ作成しておくことをおすすめします。「システム修復ディスク」の作成方法は、『活用ガイド　再セットアップ編』を、「RAIDモデル用ドライバディスク」の作成方法、またはその他のトラブルの予防については、『活用ガイド　ソフトウェア編』「トラブル解決Q&A」の「トラブルを予防するには…」をご覧ください。

❷本機のお手入れ

本機を安全に、快適に使用するためには、電源ケーブルやマウスなど定期的にお手入れが必要です。詳しくは、『活用ガイド　ハードウェア編　スリムタワー型(高拡張性タイプ)』「PART3　付録」の「本機のお手入れ」をご覧ください。

9. 保証期間と保守について

使用開始日表示ユーティリティ

本製品の保証期間は、製品ご購入日、もしくは初回電源投入日のどちらか遅い方の日から開始します。

初回電源投入日、型番、製造番号、構成コードは以下の方法で確認することができます。

■Windows XPの場合

「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「メンテナンスツール」→「使用開始日表示ユーティリティ」をクリック

■Windows 2000の場合

「スタート」ボタン→「プログラム」→「メンテナンスツール」→「使用開始日表示ユーティリティ」をクリック

本製品の保証についての詳細は『保証規定＆修理に関するご案内』をご覧ください。

9 付録　機能一覧

仕様一覧

型名*1			MY34Y/G-E	MY28Y/G-E
CPU			インテル® Pentium® 4 プロセッサ550	インテル® Pentium® 4 プロセッサ520
	クロック周波数		3.40E GHz *2	2.80E GHz *2
キャッシュメモリ(CPU内蔵)	1次		12K μ命令実行トレース*3 / 16KBデータ	
	2次		1024KB	
メモリ BIOS ROM(Flash ROM)			1024KB、プラグ&プレイ対応	
システムバス			800MHz(メモリバス:533MHz)	
チップセット			インテル® 915G チップセット	
グラフィックアクセラレータ			インテル® 915G (チップセットに内蔵)	
		ビデオRAM	64MB (メインメモリを使用)	
最大メモリ(メインメモリ)			2GB[DIMMスロット×2]*4	
表示機能	解像度・表示色	640×480ドット(VGA)	最大1,677万色*42	
		800×600ドット(SVGA)	最大1,677万色*42	
		1,024×768ドット(XGA)	最大1,677万色*42	
		1,280×1,024ドット(SXGA)	最大1,677万色*5	
		1,600×1,200ドット(UXGA)	最大1,677万色*5	
サウンド機能	音源／サウンド機能		PCM録音再生機能 (ステレオ/モノラル、量子化8ビット/16ビット、サンプリングレート8-48kHz、全二重化対応)、MIDI音源機能(ソフトウェアMIDI[XG、XG-Lite、GM、GS演奏モード対応、DLS2対応*33])、マイクノイズ除去機能*34、3Dポジショナルサウンド	
	スピーカ／スピーカ定格出力		アラームサウンド用モノラルスピーカ内蔵／0.9W *8	
	サウンドチップ		ADI社製 AD1981B搭載	
インターフェイス	USB *11		5(本体前面×2、本体背面×3)[USB接続キーボード選択時、1ポートをキーボードで占有済] USB2.0対応*12	
	パラレル		セントロニクス準拠 D-sub25ピン	
	シリアル		RS-232C D-sub9ピン×2、最高115.2kbps対応	
	ディスプレイ	アナログRGB	アナログRGB セパレート信号出力(75 Ωアナログインターフェイス)、ミニD-sub15ピン*40	
		DVI	−*56	
	PS/2		ミニDIN6ピン×2 [PS/2接続キーボード選択時、キーボード及びマウスで占有済]	
	通信関連		RJ45(1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T)LANコネクタ	
	サウンド関連	マイク入力	ステレオミニジャック×1 (マイク入力インピーダンス10k Ω　入力レベル5mVrms、バイアス電圧3.7V)	
		ライン入力	ステレオミニジャック×1 (入力インピーダンス10K Ω、入力レベル1 Vrms)	
		ヘッドフォン出力	ステレオミニジャック×1 (対応ヘッドフォンインピーダンス16 Ω-100 Ω「推奨32 Ω」、出力電力5 mW/32 Ω)	
		ライン出力	ステレオミニジャック×1 出力レベル　1Vrms、出力インピーダンス47K Ω	
記憶装置	FDD		3.5型フロッピーディスクドライブ(3モード対応*30)	
ベイ	3.5型ベイ [空き] *17		1スロット(増設HDD選択時占有済)[1]*6	
	内蔵3.5型ベイ [空き] *17		1スロット(標準HDDで占有済)[0]	
拡張スロット	PCI Express x16[空き]*17		1スロット(Low Profile) (ATI社製 RADEON™ X300 SEまたはデジタルディスプレイ用コネクタボード選択時、グラフィックボードで占有済)[1]	
	PCIスロット [空き] *17*18		2スロット(ハーフ×2) (ミラーリング(RAID 1)選択時は1スロット占有済)[2] *20	
電源			AC100V ±10%、50/60Hz	
消費電力*22(最大構成時)			約128W(最大約240W)	約110W(最大約224W)
皮相電力*22(最大構成時)			約132VA(最大約244VA)	約114VA(最大約228VA)

型名＊1	MY34Y/G-E	MY28Y/G-E
エネルギー消費効率（省エネ基準達成率）＊22＊23	P区分0.00027（AAA）	P区分0.00035（AAA）
電波障害対策	VCCI ClassB	
外形寸法（本体）	105(W)×350(D)×371(H)mm（スタビライザ含まず）、 235(W)×350(D)×371(H)mm（スタビライザ含む）＊25	
質量（本体）＊22	約9.8kg	
温湿度条件	10～35℃、20～80%(ただし結露しないこと)	
インストール可能OS ＊26＊27＊36	Windows® XP Professional(SP1)＊29/Home Edition(SP1)、 Windows® 2000 Professional(SP4)/Server(SP4)	
主な添付品	電子マニュアル(一部印刷マニュアル)、サービスコンセント付き電源ケーブル、保証書、アース線、スタビライザ、3.5型ベイデバイスカバー、Windows® 2000 Professional CD-ROM(Windows® 2000 Professional（DSP版）のみ)、アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM（Windows® 2000 Professional（DSP版）ではバックアップCD-ROM(OSを除く)/アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM)	

＊1 ：セレクションメニューを選択した構成での型名・型番については、本書をご覧ください

＊2 ：Windows® XP Professionalを選択の場合、ハイパー・スレッディング・テクノロジ対応となります。ハイパー・スレッディング・テクノロジは必ずService Pack 1以上を適用した状態でご使用ください（出荷時適用済み）。

＊3 ：最大12,000のデコード済みマイクロ命令をキャッシュすることにより、命令デコードに要する時間を不要にします。

＊4 ：メインメモリを拡張する場合、モデルによっては標準実装されている増設RAMボードを取り外す必要があります。

＊5 ：グラフィックアクセラレータの持つ解像度および色数の能力であり、接続するディスプレイによっては、表示できないことがあります。

＊6 ：3.5型ベイデバイスカバーが標準添付となります。

＊8 ：内蔵スピーカはシステムのアラームを通知することを考慮して実装しております。オーディオ再生等の際は、別途スピーカ、またはヘッドフォンをご使用願います。

＊11：別売のインストール可能OS使用時はOS用ドライバにUSB2.0ドライバは含まれません。

＊12：USB接続キーボードのUSBハブを経由すると、USB転送速度が最大12Mbpsに制限されます。

＊17：選択する構成によっては、空きスロットを使用する場合があります。

＊18：RAIDボードおよびLANボードの取り外しはできません。なお、搭載可能なPCIボードサイズは、ハーフ：106（W）×176（D）mm以内、ハーフ（Low Profile）：64（W）×167（D）mm以内となります。

＊20：LAN(100BASE-TX/10BASE-T)を選択した場合は、1スロット占有済。

＊22：OSはWindows® XP Professional、メモリは256MB(エネルギー消費効率はメモリ2GB)、HDDは40GB(質量はHDD 120GB)、LAN、CD-ROM、FDD、USB109キーボード、PCI Expressグラフィックアクセラレータ搭載時の構成にて測定。(増設HDDは無し)

＊23：エネルギー消費効率とは、省エネ法で定める測定方法により測定した消費電力を省エネ法で定める複合理論性能で除したものです。省エネ基準達成率の表示語Aは達成率100%以上200%未満、AAは達成率200%以上500%未満、AAAは達成率500%以上を示します。

＊25：縦置き時の足以外の突起物含まず。

＊26：インストール可能OS用ドライバは本体に添付しておりません。「http://nec8.com/」の上段ボタン中「サポート情報」の「ダウンロード・OS情報・注意事項」→「ダウンロード(ビジネスPC/プリンタ/PC周辺機器)」の「インストール可能OS用ドライバ(サポートOS用ドライバ)」の「Mate」に順次掲載いたします。なお、インストール可能OSをご利用の際、インストール/添付アプリケーションがご利用いただけない等、いくつか制限事項があります。必ずご購入前に、上記HPの「インストール可能OSをご利用になる前に必ずお読みください」をご覧になり、制限事項を確認してください。

＊27：以下のOSとセレクションメニューの組合せは、インストール可能OSで使用できません。購入時にご注意ください。Windows® XP Home Editionでは、ミラーリング機能、デュアルディスプレイ機能。Windows® 2000 Professional/Serverでは、RADEON™ X300 SEと無線LAN機能と増設の100BASE-TX/10BASE-T LAN。この他にもインストール可能OSをご利用の際の制限事項がございますので、＊26をご覧ください。

＊29：ハイパー・スレッディング・テクノロジはプリインストールモデルのみサポート。

＊30：3モード(720KB/1.2MB/1.44MB)に対応。なお、Windows® XP Professional、Windows® XP Home Edition、Windows® 2000 Professionalでの1.2MBへの対応は、ドライバのセットアップが必要(標準添付)。Windows® XP ProfessionalおよびWindows® XP Home Editionでは、1.44MB以外(640KB/720KB/1.2MB)はフォーマット不可。Windows® 2000 Professionalでは640KBのフォーマット不可。

＊33：DLSは「DownLoadable Sounds」の略です。DLSを使うと、カスタム・サウンド・セットをSoundMAXシンセサイザにロードできます。

＊34：ノイズ除去機能によって、音声入力信号から周辺雑音が取り除かれ、クリーンでクリアな信号がアプリケーションに渡されます。

＊36：「SP」は「Service Pack」の略称です。インストール可能OS用ドライバは（ ）内のService Packのバージョンにてインストール手順の確認をおこなっているものです。インストール可能OSを使用する場合は（ ）内のService Packを適用してご使用ください。別売のOSとService Packは別途入手が必要となります。

＊40：チップセット内蔵グラフィックアクセラレータ使用時。ATI 社製 RADEON™ X300 SE を選択時は PCI Express ボードに搭載されている専用コネクタ(DMS-59 コネクタ)に PCI Express ボードに添付の RADEON™ X300 SE 用アナログディスプレイケーブルを使用し、ミニ D-sub15 ピン× 2 となります。I/O プレート部に搭載されているアナログコネクタは、ATI 社製 RADEON™ X300 SE を選択したモデルではご利用いただけません。

＊42：グラフィックアクセラレータの持つ最大発色数です。

＊56：セレクションで「デジタルディスプレイ用コネクタボード」を選択した場合は、デジタルフラットパネル信号出力(TMDS)、DVI-D24 ピンとなります。

◆セレクションメニュー*60

型名*1		MY34Y/G-E	MY28Y/G-E
バックアップイメージ *61	標準	再セットアップ用バックアップイメージをHDDに格納*83 (Windows® XP Professional/Home Edition モデルのみ)	
	選択可能	再セットアップ用バックアップイメージをHDDに格納*83 & 再セットアップ用CD-ROM添付 (Windows® XP Professional/Home Edition モデルのみ)	
PCI Express ボード	グラフィックアクセラレータ	ATI社製 RADEON™ X300 SE (PCI Express x16)	
	ビデオRAM	128MB DDR (PCI Expressボードに搭載)	
	ディスプレイ用コネクタ	デジタルディスプレイ用コネクタボード(DVI-D)*63	
	ビデオRAM	64MB (メインメモリを使用)	
メモリ*64	256MB	ECC無しDDR2-SDRAM、PC2-4300、256MB DIMM×1	
	512MB	ECC無しDDR2-SDRAM、PC2-4300、256MB DIMM×2	
	1GB	ECC無しDDR2-SDRAM、PC2-4300、512MB DIMM×2	
	2GB	ECC無しDDR2-SDRAM、PC2-4300、1024MB DIMM×2	
ハードディスク*66	40GB	約40GB、Serial ATA対応*85、7,200rpm、SMART機能対応	
	80GB	約80GB、Serial ATA対応*85、7,200rpm、SMART機能対応	
	120GB	約120GB、Serial ATA対応*85、7,200rpm、SMART機能対応	
増設ハードディスク *67 *68	40GB	約40GB、Serial ATA対応*85、7,200rpm、SMART機能対応	
	80GB	約80GB、Serial ATA対応*85、7,200rpm、SMART機能対応	
	120GB	約120GB、Serial ATA対応*85、7,200rpm、SMART機能対応	
ミラーリング(RAID 1)		PROMISE社製 FAST TRAK 100 LP*85	
CD-ROM系 *70	CD-ROM	最大24倍速	
	CD-R/RW with DVD-ROM*71 *72	読み込み:CD-ROM最大24倍速、DVD-ROM最大8倍速、 書き込み:CD-R最大24倍速、CD-RW最大10倍速(High Speed CD-RWメディア対応*74、バッファアンダーランエラー防止機能付き)	
	DVDスーパーマルチドライブ*71 *72	DVD-RAM読み込み:最大2倍速*76、DVD-RAM書き込み:最大2倍速*76、 DVD+RW書き込み:最大2.4倍速、DVD-R書き込み:最大4倍速*77、 DVD-RW書き込み:最大2倍速*78、DVD読み込み:最大8倍速、 CD読み込み:最大24倍速、CD-R書き込み:最大16倍速、 CD-RW書き込み:最大8倍速(High Speed CD-RWメディア対応*74、バッファアンダーランエラー防止機能付き	
通信機能	LAN	100BASE-TX/10BASE-T*80、IPsecハードウェアアクセラレーション機能装備	
	LAN (ギガビットイーサネット)	1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T*80、Remote Power On 機能標準装備	
	無線LAN (IEEE802.11a/b/g)*62	IEEE802.11a/b/g準拠*79 *84、WPA対応、WEP対応〔暗号鍵長64/128/152ビット(ユーザ設定鍵長40/104/128ビット)〕	
キーボード・マウス	USB 109キーボード	JIS標準配列(英数、かな)、109キーレイアウト、テンキー付、USB1.1対応バスパワードハブ(2ポート)*82、USBインターフェイス、外形寸法:472(W)×179(D)×39(H)mm、質量:約1.2kg、USBスクロールマウス付き	
	PS/2 109キーボード	JIS標準配列(英数、かな)、109キーレイアウト、テンキー付、PS/2インターフェイス、外形寸法:456(W)×169(D)×40(H)mm、質量:約0.9kg、PS/2スクロールマウス付き	
	テンキー付きUSB小型キーボード	JIS標準配列(英数、かな)、テンキー付、USB1.1対応バスパワードハブ(2ポート)*82、USBインターフェイス、外形寸法:382(W)×179(D)×44(H)mm、質量:約1.2kg、USBスクロールマウス付き	
	テンキー付きPS/2小型キーボード	JIS標準配列(英数、かな)、テンキー付、PS/2インターフェイス、外形寸法:382(W)×179(D)×44(H)mm、質量:約1.2kg、PS/2スクロールマウス付き	

*1 : セレクションメニューを選択した構成での型名・型番については、本書をご覧ください

*60: セレクションメニュー中の各オプションは単体販売は行っておりません。

*61: セレクションによっては、再セットアップ用CD-ROMは本体添付されておりません。HDDに格納してある再セットアップ用バックアップイメージ破損や誤って消去した場合などの媒体購入方法はhttp://nx-media.ssnet.co.jpをご参照ください。

*62: 業界団体Wi-Fi Allianceの標準規格「Wi-Fi®」認定を取得した無線LANモジュールを内蔵しております。

*63: デジタルディスプレイ用コネクタボードを選択した場合は、チップセットに内蔵のグラフィックアクセラレータ機能を使用します。

*64: チップセットに内蔵のグラフィックアクセラレータを使用する場合はビデオRAMとしても使用。

*66: Windows® XP Professional、Windows® XP Home Editionは、20GBがNTFS、残りもNTFSでフォーマット済み。Windows® 2000 Professionalは、20GBがFAT32、残りはNTFSでフォーマット済み。また、Windows® XP Professional、Windows® XP Home Editionでは最後の約2GBを再セットアップ領域として使用。

＊67：3.5型ベイを1スロット使用。
＊68：セレクションメニューにてStandbyDiskありを選択された場合、増設HDDは未フォーマットです。StandbyDiskを選択されない場合は、NTFSでフォーマット済み。
＊70：コピーコントロールCD等の一部の音楽CDの作成および再生ができない場合があります。
＊71：書き込みツール「RecordNow DX/DLA」が添付されます。
＊72：DVDビデオ再生ツール「InterVideo® WinDVD™ 4」が添付されます。
＊74：CD-RWメディアの書き換えにおいて、High Speed CD-RWメディアが使用できます。8倍速以上で書き換えるには、High SpeedCD-RWメディアが必要です。
＊76：片面4.7GBのDVD-RAMの速度です。カートリッジタイプのDVD-RAMメディア(TYPE1)はご使用できません。また標準でサポートされるフォーマットはFAT32のみです。
＊77：DVD-RはDVD for General Ver2.0に準拠したディスクの書込みに対応しています。
＊78：DVD-RWは、DVD-RW Ver1.1に準拠したディスクの書込みに対応しています。
＊79：接続対象機器、電波環境、周囲の障害物、設置環境、使用状況、ご使用のアプリケーションソフトウェア、OSなどによっても通信速度、通信距離に影響する場合があります。また、IEEE802.11b/g(2.4GHz)とIEEE802.11a(5GHz)は互換性がありません。
＊80：国際エネルギースターに対応するため、一定時間、操作がない状態が続くと、省電力モード（システムスタンバイ、または休止状態）に入るため、ネットワーク構築環境によって適さない場合があります。
＊82：USBコネクタから100mA以下の電流を消費する機器のみ接続できます。また。USB2.0は未サポート。
＊83：ハードディスク内の約2GBを再セットアップ領域として使用。これらの再セットアップ用バックアップイメージをCD-R媒体に書き出す際は、セレクションメニューで選択可能なCD-R/RW with DVD-ROMまたはDVDスーパーマルチドライブが必要です。
＊84：Super AG™に対応。Super AG™機能を使用するには、接続先の無線LAN機器もSuper AG™に対応している必要があります。
＊85：ミラーリング（RAID1）を選択した場合はUltra ATA-100、7,200rpmとなります。

ギガビットイーサネットLAN

●規格概要

項目	規格概要
準拠規格	ISO 8802-3、IEEE802.3、IEEE802.3u、IEEE802.3ab
ネットワーク形態	スター型ネットワーク
伝送速度	1000BASE-T 使用時：1000Mbps
	100BASE-TX 使用時：100Mbps
	10BASE-T 使用時：10Mbps
伝送路	1000BASE-T 使用時：UTP カテゴリ 5e 以上
	100BASE-TX 使用時：UTP カテゴリ 5
	10BASE-T 使用時：UTP カテゴリ 3 または 5
信号伝送方式	ベースバンド伝送方式
ステーション台数	最大 1024 台／ネットワーク
ステーション間距離／ ネットワーク経路長※	1000BASE-T：最大約 200m ／ステーション間 100BASE-TX：最大約 200m ／ステーション間 10BASE-T：最大約 500m ／ステーション間 最大 100m ／セグメント
メディアアクセス制御方式	CSMA/CD 方式

※：リピータの台数など、条件によって異なります。

LAN

●規格概要

項目	規格概要
準拠規格	ISO 8802-3、IEEE802.3、IEEE802.3u
ネットワーク形態	スター型ネットワーク
伝送速度	100BASE-TX 使用時：100Mbps
	10BASE-T 使用時：10Mbps
伝送路	100BASE-TX 使用時：UTP カテゴリ 5
	10BASE-T 使用時：UTP カテゴリ 3 または 5
信号伝送方式	ベースバンド伝送方式
ステーション台数	最大 1024 台／ネットワーク
ステーション間距離／ ネットワーク経路長※	100BASE-TX：最大約 200m ／ステーション間 10BASE-T：最大約 500m ／ステーション間 最大 100m ／セグメント
メディアアクセス制御方式	CSMA/CD 方式

※：リピータの台数など、条件によって異なります。

無線LAN（IEEE802.11a/b/g）

無線LAN（IEEE802.11a/b/g）は、2.4GHz無線LAN（IEEE802.11b/g）規格と5GHz無線LAN（IEEE802.11a）規格を切り替えて通信することができる無線LANです。それぞれの無線LAN規格の概要は以下の通りです。

無線LAN（IEEE802.11a/b/g）は、Atheros Communications社が開発したワイヤレス通信の高速化技術「Super AG™」に対応しています。※4

●2.4GHｚ無線LAN（IEEE802.11b/g）規格概要

項目	規格概要
準拠規格	IEEE802.11g、IEEE802.11b ARIB STD-T66
通信モード	IEEE802.11g：54/48/36/24/18/12/6（Mbps モード）※1 IEEE802.11b：11/5.5/2/1（Mbps モード）※1
変調方式	OFDM 方式（54/48/36/24/18/12/6Mbps モード時） DS-SS 方式（11/5.5/2/1Mbps モード時）
無線チャンネル	1 〜 13ch
周波数帯域	2.4GHz 帯域（2.4 〜 2.4835GHz）
セキュリティ機能	WPA（Wi-Fi Protected Access）
暗号化機能	暗号化鍵長 64bit、128bit、152bit ※2

●5GHz無線LAN（IEEE802.11a）規格概要

項目	規格概要
準拠規格	IEEE802.11a ARIB STD-T71
通信モード	54/48/36/24/18/12/6（Mbps モード）※1
変調方式	OFDM 方式
無線チャンネル	34ch、38ｃh、42ｃh、46ｃh
周波数帯域	5GHz 帯域（5.15 〜 5.25GHz）※3
セキュリティ機能	WPA（Wi-Fi Protected Access）
暗号化機能	暗号化鍵長 64bit、128bit、152bit ※2

※１：各規格による理論的な通信速度をもとにした通信モード表記であり、実効速度とは異なります。
※２：設定可能な鍵長は、それぞれ 40bit、104bit、128bit です。
※３：5GHz 無線 LAN の使用は、電波法令により屋内に限定されます。
※４：Super AG™ 機能を使用するには、接続先の無線 LAN 機器も Super AG™ に対応している必要があります。

ご注意

(1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
(2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
(3) 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気付きのことがありましたら、ご購入元、またはNEC 121コンタクトセンターへご連絡ください。落丁、乱丁本はお取り替えいたします。
(4) 当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3)項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
(5) 本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
(6) 海外NECでは、本製品の保守・修理対応をしておりませんので、ご承知ください。
(7) 本機の内蔵ハードディスクにインストールされているWindows XP、またはWindows 2000、および本機に添付のCD-ROMは、本機のみでご使用ください。
(8) ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。
(9) ハードウェアの保守情報をセーブしています。
(10) 本書に記載しているWebサイトは、2004年5月現在のものです。

初版 2004年 6月

853-810602-126-A

このマニュアルは再生紙（古紙率100%）を使用しています。